

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス あっとほーむ小坂		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 3日		令和7年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数) 34名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 3日		令和7年 12月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 30日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合わせた支援を行っていること	それぞれの特性に合わせた課題をおこなっています。苦手分野は成功体験を積むことでできることが増えるよう支援しています。また学校や家庭と同じ足並みでおこなうことで、お子さんが混乱することなく、課題に取り組めるようにしています。	支援内容が固定化しないように定期的な見直しをおこなうと共により専門的な支援がおこなえるよう、外部の方からアドバイスをいただき実践したり、研修で知識を深められるよう努めます。また将来を見据え、公共交通機関の練習や、外出の機会を増やすことで社会参加の場を提供します。
2	公式ラインを使うことで個々に写真添付で様子を伝えることができる	個別課題や宿題の様子だけでなく、普段の自然な様子をお伝えできるよう努めています。またインスタグラムと違い、公式ラインでは個々の表情をそのままお伝えできるので、実際に口頭で様子をお伝えする時に、より一層様子を思い浮かべられるようにしています。	写真だけでなく、動画も添付していきたいと思えます。また保護者会で動画を視聴してもらい機会を設けようと考えています。違う学校のお友達との関わり等もお伝えすることで、保護者の方からたくさん良い話が聞けるよう取り組んでいきます。
3	安心して楽しみに通うことができる事業所である	活動が固定化しないよう、また特性を考慮した活動を考えてどのお子さんでも楽しめるよう工夫しています。活動の参加が難しいお子さんでも、お友達の輪の中で一緒に過ごすことで、雰囲気を楽しめるよう配慮しています。	定期的に活動内容を見直し、更に新しい活動が提供できるように取り組んでいきます。個々の気持ちに寄り添い、共有することで心の安定を図り、お子さん自身が「行きたい」と思えるような事業所を目指します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会や兄弟同士の交流の機会がないこと	年度末に保護者会を開催しておりますが、その他で交流の場は設けていませんでした。茶話会も検討していましたが、お仕事をされている方が大半で日程調整が難しいのが現状です。また兄弟同士の交流に関しては、兄弟利用のご家庭も数件あり、特に交流の場としては設けていませんでした。	茶話会の開催は日程調整が難しい為、施設内行事に保護者や兄弟の参加を募り、保護者や兄弟同士の交流の場が提供できるよう検討しております。
2	家族も参加できる研修や情報提供の機会がないこと	情報共有は送迎時、モニタリング時、お迎えの際におこなっておりますが、保護者同士の情報共有の場は保護者会以外にはありませんでした。	家族で参加できる研修等がありましたら、情報提供していきます。また職員が研修を受け、情報を提供できるよう努めます。
3	地域の他の子どもとの交流や活動する機会がないこと	初めての場や初めての人が苦手なお子さんも多く、地域の子どもの交流はありませんでしたが、年に2回ほど地域ボランティアの方に来ていただいております。	環境の変化に敏感なお子さんでも参加できるように交流方法を今後の課題とし、児童館の利用や地域の行事に出向くなど地域参加ができるよう努めていきます。